

兵庫県保険医協会 神戸支部第31回総会記念講演のご案内

医院のトラブル対策 (2010年版)

日時 2010年10月16日(土) 15:00 ~ 17:00

会場 兵庫県保険医協会会議室
(JR・阪神元町駅南へ徒歩7分 兵庫県農業会館西隣)

講師 大阪府保険医協会事務局次長 尾内 康彦氏

医療機関トラブルのなかで最も多い「患者トラブル」に絞って、最近の特徴と対応法を検討します。当日は「理論編」と「事例編」に分けて話をします。スキル・ハウツーを学べば、トラブルはどうにかなると思うのは、“トラブル対応の本質”を知らない人の言うこと。スキル・ハウツーはトラブル対応の”必要条件”ではあっても、“十分条件”ではありません。当日は、この「十分条件」である、“トラブル対応の正しい考え方・心構え”をつかんでから、各種事例を頭に入れて頂きます。

【尾内 康彦 記】

講師プロフィール

1979年に大阪府保険医協会に入局。組織、税務等を担当し、会員からのよろず相談に応じている。大阪のみならず、全国の病医院から多数相談が寄せられる。「日経ヘルスケア」に05年2月から「病医院トラブル110番日記」を執筆中(2010年8月で67回目)。

FAX(078)393-1802 へご返信ください

■ 10/16(土) 神戸支部第31回総会

- ・総会(14:30 ~) 参加 不参加(議事の一切を議長に委任します)
 - ・記念講演(15:00 ~) 参加()名
 - ・懇親会(17:30 ~) 参加()名 ※1医療機関5名まで
- ※参加費無料(会場:ニューミュンヘン神戸元町店 Tel 078-335-0170)

()区 医療機関名

氏名 Tel () -

兵庫県保険医協会 神戸支部ニュース

232号
2010年9月25日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸ワコ生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会神戸支部 TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

会員懇談会「後悔しない労務管理」に18人

褒めること、叱ることの大切さ



講演後は経験交流が活発に行われた

神戸支部は9月5日に、協会会議室で会員懇談会「後悔しない労務管理～スタッフとの上手な付き合い方～」を開催。社会保険労務士の嶺山洋子氏を講師に18人が参加した。参加者の感想文を紹介する。

現在、私は整形外科を開業して約10カ月になります。開院当初は、次々に分からない事が出て来て右も左も分からずに目の前にある溜まった仕事をこなすのが精一杯という状態でした。半年程が経過し、人を雇用し上手に働いてもらうという事がいかに難しく大変であるかを痛感する

事が何度かあり、この度、嶺山先生の講演に参加させて頂きました。

労務管理というとスタッフとのトラブルが起きた時にどう対処すべきとか、給与の支払い方、解雇時の手段や手続きの方法など法的に問題がないかなど、とかく事務的な手段が気になります。就業規則の作成、賃金決定基準、労働契約書の内容等、詳しく講演して頂き非常に参考になりました。

ただ今回、私にとって一番重要であると思った事はスタッフを褒める・叱るという事でありました。嶺山先生は、自分が気

(2面へ続く)

(1面から続く)

がついたらすぐに具体的な内容でよかった事を褒めて、して欲しい課題を与えると言われていました。

日々、忙しい中でスタッフのしている事は仕事だから当たり前という風になりがちで、なかなかスタッフを褒めるという事を忘れてしまいますが、気を利かせてスタッフがしてくれた事に対して敏感

に察知して感謝し、自分のして欲しい事も伝えるというコミュニケーションこそが労務管理において最も重要であると感じました。

法的な知識や理論で武装する事も、もちろん大切ですが、そうならないようにする事が良い仕事場につながると思いました。嶺山先生ありがとうございました。

【中央区 大森 治】

兵庫県保険医協会 神戸支部役員選挙の公示

兵庫県保険医協会神戸支部 支部長 田中孝明

兵庫県保険医協会神戸支部内規(細則)協会役員等の選出規定の第3条の3、第9条の2および第17条により、神戸支部役員選挙の公示を行います。

【役職と定数】

支部長 1名 / 副支部長 若干名 / 幹事 若干名

【任期】2年

【改選日時】10月16日(土)午後2時30分 神戸支部第31回総会/兵庫県保険医協会会議室

【立候補日時締切】10月9日(土)正午

【立候補届出の方法】支部役員は、本人の届け出、または会員の推薦による届け出により候補者の資格を得ます。なお、推薦の場合は、本人の承諾を必要とします。立候補・推薦希望者は、協会事務局までお申し出ください。用紙をお届けします。

開業医の手作り 健康情報 テレホンサービス

【10月テーマ】

- 月曜日 女性の外陰部のかゆみ
- 火曜日 赤ちゃんの口腔ケア—いつから、どのように始めるの?
- 水曜日 糖尿病の新しい話—インクレチン関連薬
- 木曜日 治る耳鳴りについて
- 金土日 パニック障害



0120 - 979 - 451

東灘・灘・須磨区社保協が総会

社会保障推進協議会(略称:社保協)は、1964年に労働組合や市民団体が中心となり、社会保障の拡充をめざして結成された団体です。協会は1968年から兵庫県社保協に参加、現在は武村義人副支部長が会長を務めています。市内各区で結成されており、協会会員が積極的な役割を果たしています。東灘区・灘区・須磨区社保協の総会を紹介します。

ビデオ「無縁社会」で学習会

東灘区社保協(会長:口分田勝支部幹事)は、8月26日に第11回総会を開催し30人が参加。口分田先生は選挙結果に触れ「憲法が輝く社会保障充実の社会を目指し頑張りましょう」とあいさつした。

記念学習会ではNHKスペシャルの「無縁社会～無縁死3万2千人の衝撃～」上映会を行った。参加者から「人の命が軽んじられている社会だと深く考えさせられた」「死後の身辺整理や埋葬などを専門に請け負う法人が急増していることを初めて知った」「社会保障・社会福祉の拡充が必要だと強く感じた」などの意見が出された。



総会では口分田先生が開会あいさつした

“後期高齢者医療制度”は即時廃止を

灘区社保協(会長:落合愛子支部幹事)は8月28日に灘民主商工会ホールで第10回総会を開催。

活動報告のあと、活動方針、会計報告、新役員の提案が承認された。記念企画は、協会事務局の平田雄大氏を講師に「後期高齢者医療制度」について学習会を行った。講師は、厚生労働省が8月20日に発表した後期高齢者医療制度に替わる新制度の「中間とりまとめ」の内容を説明し、「低すぎる国庫負担と、医療費に比例して高くなる保険料」の問題点を明らかにした。参加者からは「新制度にも問題がありすぎる」「即時廃止しかない」と声が上がった。



後期高齢者医療制度について学習会を行った

憲法25条が活かされる社会に

須磨区社保協は9月5日に北須磨文化センターで第7回総会を開催。8団体から23人が参加した。役員選出では代表幹事に加藤擁一支部幹事が再選された。

加藤先生は、「民主党政権に変わっても国民の期待は裏切られ、貧困と格差は解消されない。憲法25条が活かされる社会になるよう、これからも共に頑張りましょう」とあいさつした。記念講演は、ひょうご福祉ネットワーク事務局の前島豊氏が、15年間行った巡回相談の活動報告をした。



加藤先生が協会政策パンフを紹介